

岡倉天心・五浦発信プロジェクト

分野：課外活動、地域発信

代表者：人文社会科学部法律経済学科 2年 岩田 健太郎

連携先

株式会社 サザコーヒー
代表取締役会長 鈴木誉志男
営業部部長 谷口肇
北茨城市地域おこし協力隊 都築響子
茨城大学五浦美術文化研究所

年)

岡本茉夕（人文社会科学部人間文化学科
2年）
齋藤遼太（農学部食生命科学科バイオサイ
エンスコース 1年）
佐伯亜依子（理学部理学科生物科学コース
1年）

顧問教員

顧問

茨城大学工学部都市システム工学科
一ノ瀬彩（工学部・助教）
茨城大学全学教育機構共通教育部門
清水恵美子（全学教育機構・准教）

副顧問

茨城大学教育学部情報文化課程
小泉晋弥（教育学部・教授）

参加者

丹治彩弥乃（人文学部社会科学科 3年）
小松崎流緋（人文学部社会科学科 3年）
木村愛美（人文学部社会科学科 3年）
米川緩（人文学部人文コミュニケーション
学科 3年）
岩田健太郎（人文社会科学部法律経済学科
2年）
宮本夢花（人文社会科学部人間文化学科
2年）
鈴木楓子（人文社会科学現代社会学科 2
年）
田中響（理学部理学科生物科学コース 2

プロジェクトの概要

茨城大学にゆかりのある岡倉天心の思想と、天心が晩年に移り住んだ北茨城市五浦地域の魅力発信を行い、本学の学生のみならず、多くの人々に天心や五浦を知ってもらうことを目的とする。連携先である株式会社サザコーヒーとは、五浦の情報発信の媒介になるものとして「五浦コーヒー」の共同開発を行った。

具体的な活動としては、五浦天心遺跡にて、天心の思想を扱った内容のワークショップを行ったり、茶会などのイベントを開催したりしている。また、「五浦コーヒー」の試飲や販売等も行い、「五浦コーヒー」を活かしたプロジェクトの発信にも盛んに取り組んでいる。

プロジェクトの成果報告

【プロジェクトの成果報告】

学生参画による地域プロモーション活動として以下のことを行ってきた。

《サザコーヒー会長との座談会》

サザコーヒーの鈴木会長から、岡倉天心やコーヒーのこと（淹れ方など）を学んだ。またこれだけでなく、後述の茨苑祭でのコーヒー販売についても話し合い、貴重なアドバイスをいただくことができた。



※上の写真は話し合いの様子

《天心命日》

9月2日の天心命日に、五浦の天心邸でワークショップを行った。このワークショップでは、小泉先生や鈴木会長から岡倉天心や五浦コーヒーにまつわるお話をいただいた。これらを通して、メンバーや来場者が楽しく交流できる時間を設けることができた。この時の様子は、NHK水戸放送局の「いばっチャオ」と、「いば6」で取材・放映された。



※上の写真はコーヒーをみんなで味わって

いる様子

《観月会》

天心が昔に行つたとされる観月会を再現し、五浦現地で学生手作りの屋台で珈琲画のワークショップを行った。あわせて五浦コーヒーの販売とパフォーマンスも行った。当日は、多くの方にワークショップに向けて、メンバーと清水先生、小泉先生で話し合いを行ってきた。



※上の写真は観月会の準備が整った状態

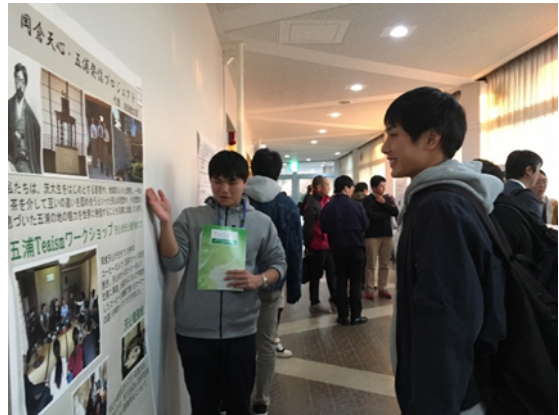


※上の写真は観月会後の集合写真

らっしゃった。

《茨苑祭》

茨城大学の文化祭である茨苑祭にて、五浦コーヒーを販売した。その際に、来場者にコーヒーのミル挽き体験をやってもらうスペースの設置や、五浦海岸の写真を紹介しての紹介を行った。そのおかげで、多くの来場者に足を運んでいただき、コーヒーや五浦に興味・関心を示されていた。当日は、鈴木会長もお見えになって、この時の様子は、東洋経済新聞に掲載された。



※五浦コーヒーの看板



※上の写真はポスター発表の様子

※下の写真はポスターの用紙

《はばたく！茨大生》

はばたく！茨大生に、本プロジェクトもポスター発表で参加させていただいた。来場者の中には、活動内容や五浦、岡倉天心に興味・関心を持っていただいた方や、それらに関して質問や意見等をくださった方もい

《期待場下見・桃源郷芸術祭打ち合わせ》

3月に開催される北茨城市主催の「桃源郷芸術祭」に本プロジェクトからも参加させていただくことになった。その前段階として、会場となる期待場(旧富士が丘小学校)にメンバー自ら赴いて、下見を行った。また

桃源郷芸術祭当日の企画内容について、提携先である北茨城市地域おこし協力隊の都築氏や、サザコーヒー会長の鈴木氏と話し合った。公式ツイッターでは、本プロジェクトも紹介されており、今までのワークショップ同様、来場者を呼び込むことも目標としている。



※上の写真は桃源郷芸術祭のギャラリー

《teatism 会議》

週 1 回（前期：木曜日、後期：火曜日）、今後の計画について話し合ったり、確認したりする teatism 会議を行ってきた。



※上の写真は先述の期待場下見の確認を行っているところ

【今後の課題・展望】

1. 計画性をもって活動を行う

昨年と同様であったが、企画本番の直前になっても準備が十分に完了していないことがしばしば見受けられた。来年度からはきちんと計画的に企画の準備を進めるようにする。

2. 役割分担をはっきりする

各企画において、少数のメンバーに大きく負担がかかることがあった。

毎週行っている Teatism 会議できちんと役割分担をするべきだ。

3. 今後について

今年の企画はほぼすべて「五浦コーヒー」関連であった為、来年度は「五浦コーヒー」以外の観点から天心・五浦を発信する企画を立てる。天心・五浦を形あるもので発信する為、「五浦コーヒー」のような天心・五浦関連の商品を茨城大学、北茨城市、筑波大学といった県内の大学と連携しながら開発したい。

4. 出席率について

人数の関係や各々の都合もあるので仕方がない部分もあるが、会議やイベント等の出席率が悪い時もあった。出席率を上げる為に、1人1人がプロジェクトのメンバーであることを自覚し、責任感をもてるようにしたい。

5. 対象地域について

1～3年目では北茨城市の五浦地区を活性化させるために活動してきた。しかしながら北茨城市には五浦地区以外にも魅力的な場所や歴史、風土、人々が存在していると考えられる。来年度は五浦地区に限らず、北茨城市全体にまで視野を広げて活動を行いたい。そしてプロジェクトとしてさらなる飛躍をしたいと考える。